

まちかど ネットワーク

お便りをお待ちしています



このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。あなたの情報を、ぜひ広報広聴課へお寄せください。

☎55-2700 ㊚51-1456

✉kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp

ZOOM ズームアップ

富士市障がい児(者)ふれあい交流事業

ういんたー ふえすた

【こ】として5回目を迎える「ういんたーふえすた」。このイベントは、NPO法人富士市手をつなぐ育成会が市から委託を受けて行っている事業です。



▲つきたてのもちが食べられます

富士市手をつなぐ育成会理事の金谷弥生さん(比奈)は、「5年前までは、バス旅行を行って来ました。参加者は、年齢も障害もさまざま。年1回遠くへ出かけていって遊ぶのではなく、みんなでイベントをつくり上げ、大勢の人と交流できる場にしよう」と、「ういんたーふえすた」などのイベントが始まりました。イベントを楽しむことはもちろんですが、保護者同士の情報交換の場にもなっています。



ろいろな人とふれあえるので、多くの人に参加してもらいたいですね」と話します。

イベントでは、もちつきをしたり、豚汁を食べたり、大道芸やバンド演奏などを楽しんだりします。当日の手伝いをしてくれるボランティアも募集中です。

毎年すてきな笑顔が集まる、この「ういんたーふえすた」。ぜひ、皆さんもご参加ください。

とき／2月28日(日)

10時30分～14時

ところ／東部市民プラザ

参加費／1人200円

申し込み／2月20日までに、は

がきまたはフアックスに
参加希望者の氏名、年齢、住所、電話番号を記入し、富士市手をつなぐ育成会事務局へ

申し込み・問い合わせ／

富士市手をつなぐ育成会事務局

〒416-0939

川成島702-13

☎・㊚(63)0770

市長の手紙から

市は「市長への手紙」を設け、市政についてご提言やご意見をいただいています。

今回は、中里にお住まいの木下佳威さん(吉原工業高校1年)からの手紙をご紹介します。

つえホルダーの設置

この前、地区まちづくりセンターで、つえをついた高齢者が書類を申請している場面を見ました。そのとき、つえを置く場所がなくて困っている様子でした。

以前、中央病院で「つえホルダー」を見かけたので、地区まちづくりセンターの受付にも設置したらいいと思います。

市長からの回答

日ごろから、市政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。



▲地区まちづくりセンターに設置したつえホルダー



木下 佳威さん(中里)

つえホルダーは、つえ本体に取りつけて使用するものと、カウンターなどに設置するものがあります。つえを利用する高齢者や障害者は、外出などの日常生活の中で、屋内・外を問わず、いろいろな場所でつえを使用するため、つえ本体にホルダーを取りつけることが望ましいと考えられています。

公共施設のつえホルダー設置状況を確認してみると、中央病院と共立蒲原総合病院にあり、地区まちづくりセンターは、富士川まちづくりセンターに取りつけてあるだけで、ほかの地区まちづくりセンターは未設置でした。

検討の結果、つえ本体に取りつけている人がまだ少ないことから、昨年末までに市庁舎のフアミリートイレ、高齢者や障害者の相談窓口、地区まちづくりセンターなどへ設置しました。貴重なご意見をいただき大変ありがとうございます。今後とも地区まちづくりセンターのことや市政についてお気づきの点があれば、ぜひご意見をください。